

月額包括報酬の日割り請求にかかる適用について 資料

(平成 27 年 3 月 31 日 老健局介護保険計画課・振興課・老人保健課/事務連絡 I 資料 9 より抜粋)

以下の対象事由に該当する場合、日割りで算定する。該当しない場合は、月額包括報酬で算定する。

日割りの算定方法については、実際に利用した日数にかかわらず、サービス算定対象期間(※)に応じた日数による日割りとする。具体的には、用意された日額のサービスコードの単位数に、サービス算定対象日数を乗じて単位数を算定する。

※サービス算定対象期間：月の途中で開始した場合は、起算日から月末までの期間。

月の途中で終了した場合は、月初から起算日までの期間。

月額報酬対象サービス		月途中の事由		起算日 ※2	
介護予防・日常生活支援 総合事業 					

※1 ただし、利用者が月の途中でほかの保険者に転出する場合を除く。月の途中で、利用者が他の保険者に転出する場合は、それぞれの保険者において月額報酬の算定を可能とする。

なお、保険者とは、政令市又は広域連合の場合は、構成市区町村ではなく、政令市又は広域連合を示す。

※2 終了の起算日は、引き続き月途中からの開始事由がある場合についてはその前日となる。

月額包括報酬の日割り請求にかかる適用について

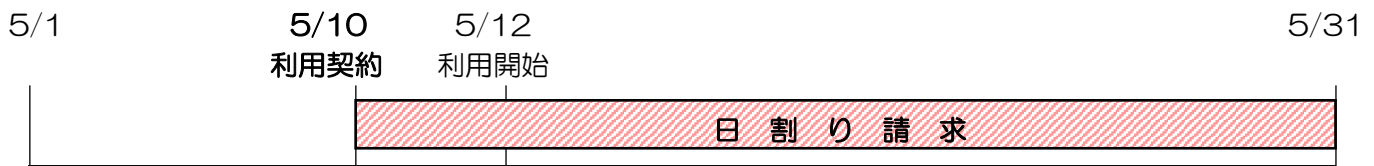
介護予防・日常生活支援総合事業（訪問・通所型サービス）は、予防給付と異なり、利用者との契約開始又は契約解除については、契約日（サービス事業者と利用者が契約を締結した日）又は契約解除日を起算日として日割りで算定しています。

なお、月途中の区分変更やサービス事業所の変更等の取扱いについては、予防給付と同様です。

日割りの算定方法は、実際に利用した日数にかかわらず、サービス算定対象日数（月の途中に開始した場合は、起算日から月末までの期間、月の途中に終了した場合は月初めから起算日までの期間に応じた日数）による日割りとなります。

① 月途中から新たに利用する場合

＜ 契約日から月末までで日割り請求 ＞



請 求 : 日割り単位 (*) × 22日 (5/10~5/31)

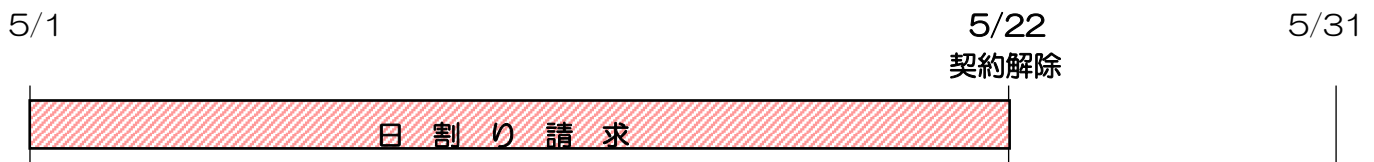
《注意 契約した月にサービス利用がない場合》

⇒ 契約した月にサービス利用実績がなく、翌月から利用した場合、契約した月の報酬請求はせずに、翌月の利用から月額報酬（日割りなし）で請求します。



② 月途中で利用が終了した場合

＜ 月初から契約解除日までで日割り請求 ＞



請 求 : 日割り単位 (*) × 22日 (5/1~5/22)

※ 月途中で利用者が死亡した場合は、契約解除の取扱いに準じ、死亡日を起算として日割り請求します。

※ 契約が終了した月にサービス利用実績がない場合は、契約が終了した月の報酬請求は行いません。

※上記以外の日割り請求が必要な場合については、予防給付と同様に取扱いします。